



実践者から見た 地域活動のやりがいと課題

「青森県の課題は？」
「人口減少」、「若者の県外流出」、「県民所得の低さ」、「平均寿命の短さ」等、咄嗟に浮かんだフレーズだけでもこれだけのものが挙げられます。青森県総合社会教育センターでは、生涯学習や社会教育の充実という視点から、さまざまな事業を通じて、これら諸課題の解決に向けた活動の情報や機会を提供しております。今号では「青森県における生涯学習・社会教育実践者から見た、やりがいと課題」をテーマに、地域活動にスポットを当てて、地域活動に関する現状について情報提供をいたします。

当センターでは地域活動や自己啓発に繋がる講座として、「パワフルAOMORI！創造塾」を実施しています。本事業では、地域活動に係る潜在的な人財を掘り起こし、講義・演習や企画・運営を通して、地域を担う人財を育成し、地域活動に関わる関係者のネットワーク形成の促進をねらいとしています。今年度も7月末より講座が始まり、現在12名の塾生が地域活動のリーダーとなるべく頑張っています。

今号では「パワフルAOMORI！創造塾」において、塾生のコーディネーターを担当して下さっている地域活動の大ベテラン、地域活動を創りだして少ずつ軌道に乗ってきた卒業生、これから本格的に地域活動を創りようとしている卒業生3名に対し、さまざまな角度から現状と課題についてインタビューをしましたので、地域活動を実践されている方だけでなく、これから創めようとしている方に対しても、参考になる内容をお届けできれば幸いです。

生まれ育った場所の 素晴らしさを、 多くの方に伝えたい



生まれ育った場所は 「癒しの空間」

東京で長く勤めていたのですが、コロナ禍により、在宅勤務が可能になりました。それで、日本全国各地でも働けるようになったことから、それならとUターンをして、地元八戸市の種差に戻ってきました。すると、この場所の癒やしのパワーにとてもびっくりしました。さらに元々自分の生まれ育った場所ですから世界中を見て回った中でも、ここは特別な場所、世界中どこにもない、本当に素晴らしい場所だということに改めて気づきました。この種差海岸をたくさんの人に知っていただき、私のように癒やされてもらえればと思い、地域活動をはじめました。

見吉 由記

パワフルAOMORI！創造塾
第35期卒業生

合同会社あめつちグローバル代表
旅館 見習女将

パワフルで「つながり」の ありがたさを実感

「地域活動」を目的に集まっているという、ところがポイントじゃないですか。青森県のために何かしたいという、その共通する方々の気持ちの良さですね。あの活動が終わった後も関係は続いていて、情報交換であったり、お互いに刺激し合える環境っていうのは、もうパワフルにしかないんじゃないかなと思うんですね。それから卒業生の方とのつながりもありがたいです。私が事業を始めようと考えたときに、すでに起業していた卒業生に「このように進めたのですか？」と聞いてみたんです。合同会社にしたいんですけどどうしようか、NPOはみたいな話をしていたら、自ら持っている資料を出して下さって。あと融資の受け方とかも教えて下さったんですよ。時間もお金もかけて、ご自身で準備したものを、何の見返りもなく出せる人いる！と思うじゃないですか。そういう風に気持ちのいい方たちとつながれたことは何よりですね。それから、プレス対応やチラシ作成等、実践活動で取り組んだことが、イベント等をやる時にすごく役立っています。

たくさんの アイデアがあります

昨年度、地元で採れる海産物のホヤの殻を利用して「ホヤランプ」を小学校のPTA活動へ提案して作成し、地域のお祭りに出品しました。当初は「売れるわけないよ」といった感じだったのですが、評判が良くて、地方紙にも取り上げていただきました。また、地域活動を研究している大学の先生からの取材があったりなど、いろいろなことが広がっていく楽しさも地域貢献の面白いところと感じています。その他にも、アイデアはいっぱいあるんですけどね。例えば種差海岸の水平線からめっちゃくちゃ大きい満月が見えるときがあります。すると、月の光は真っ直ぐに道ができたように自分の方向に向かってくるように見えます。さらに波の音を聞きながら…。そんな経験はなかなかできないですよ。いろんな人に見ていただきたいです。それから地元のことを知ってもらうために、一緒に登山を楽しんでも良いですし、地元の郷土料理と一緒に作ってもいいでしょうね。私は英語ができるので、日本の方のみならず世界中の方々に体験してもらいたいと思います。



青森県総合社会教育センター
〒030-0111
青森市大字荒川字藤戸119-7
TEL.017(739)1252 FAX.017(739)1279

「HIBIKI」に関わるご意見は下記のアドレスへ
E-SHAKYO@pref.aomori.lg.jp
件名に「HIBIKI 128号」とご記入ください。

詳しくは
[ホームページ] [Facebook] [Instagram]

誰かが喜んでくださったたり、地域が良くなったと言ってくれれば、全てそれが原動力になるので、一番のやりがいにつながりますよね。何が形になっていくという実感があります。少し前も、当時の連合会の会長さんとかが「町田さんが来てくれて、明らかにこの町は変わった」と言ってくださって…。本当に涙が出るぐらい嬉しかったですね。

もう自分も年を取ってきて、いつまでできるかわからないっていうのもあるの、今は若い人たちが「自分もやってみよう」とか「手伝いたい」とか「みたいな

後にも先にも「人材育成」

若い人たちが「地域づくりをしなから、それで自分たちも食べていけるだけの利益も上げ、地域貢献ができ、そしてノウハウを蓄積していく…」みたいな、そういう人たちが早く育ってほしいという思いはすごくありますね。そんなことを常に考えていることもあって、課題は人材育成だと思っています。でも、現実には難しいですね。やっぱり現実と理想とのギャップで続かない人も、これまで多く見てきているのでね。少し厳しい言い方になりますが、ちょっと覚えたかと思うと、すぐにもう「自分ではできる」「みたいに思ってしまったる人も見られますからね。なんとなく「それでいけてしまおう」みたいなね。地域づくりで「食べていく」って大変です。ましてや、人を雇って何か事業をやるって大変なことなので、まず自分で自分を支えないといけ

ことを言ってくれると「もう少し頑張ろう…」、この人たちに全部早く伝えようとか、そんな気持ちが自分を元気にしてくれる「源」というか、そんな感じですよ。

ない。必死です。周りを見てみると人によって、思いがあっても違う方向に行ってしまうことが多くかとも思っていますね。それはそれで必要なことかもしれないですけどね。でも、原点はやっぱりその地域に根付いた、根付かせるような活動だったり、その地域にもっと人が来てくれるような循環を作っていくってりとかね、地域が元気にならないといけないですからね。初めは、その辺のノウハウっていうのは、何をしたらいいかわからないですけどね。答えもマニュアルもないわけですから。地域によっても違いますが、地域にいる人たちによっても違いますが、こういったことを具現化して形にしていくのは、時間がすごくかかります。人材をそこまで育てていくっていうのは、この分野の難しいところであると思いますね。



答えのない地域づくりに取り組む人を支えたい

町田 直子

パワフルAOMORI! 創造塾 第35・36期コーディネーター

株式会社ACプロモート代表取締役
NPO法人ACTY 理事長

「八戸に一度は行ってみたい!」と思えるような、ブランドイメージが、世界の人につながり入るような町になってほしいなと思っています。例えばハワイって言ったら、「南国の町で素敵」「夕日とビーチがとっても綺麗よね」ってなりまよすよね。一大ブランド、イメージですよ。八戸も同じように、世界に誇れる、みんなが憧れるみたいな、そういう町になってほしいなって。それはずっと思っています。

若い人達の可能性に期待

今の若い人たちは、私たちの時代にはないものを持っていますよね。発想もそうだし。例えば私たちがものすごく時間がかかって、一生懸命やらないうでできなかったようなことが、今の若い人たちは、感性とか持って生まれたもので簡単にできてしまうみたいなのが、いいと思います。だからそういうものをどんどん露出してほしいと思っています。そういうものと昔の知恵がうまく合わさると、新しいものとして、今の時代にあったものが生まれてくると思います。私はこれからもそういう人と出会えるといいと思っていますし、若い人たちが、もっともっと積極的にアピールしてくればいいとも思っています。若い人たちの才能というのが、あの感性。そこにはものすごく期待感があります。出会いを大切にしたいなと思いますね。

たくさんの人とのつながり

やりがいはいちやくちやあります。人それぞれ全く同じ思いを持っている人はいないと思いますが、私がミライクをはじめに当たって、「私、こういう思いがあるんです」と伝えたときに、今働いている職員とか、関わっている人とか、たくさんの方が集まってくれたというのは、まずひとつやりがいですよ。ミライクに関しては、新しくできた法人・施設で、大きな法人さんとかと比べて、安定して運営してきた実績とかもないので、そういうところに特性のあることもさんを預けるって親御さんとしても不安はあると思います。そんな中、すぐにたくさんのごもたちが来てくれて…。本当にありがたいことですね。日々いろいろなおことはありますけども、そのような中で成長していく姿っていうのは目に見えてわかるので、ごもたちが変化していく様子とかが見られているのは、一番のやりがいですね。

人材確保、定着、育成…

課題だらけなんですけどね。まずは人手不足ですね。仲間になってくれる人はいませんが、新規事業をやっているところには必要で、でもごもみんな人手不足で、人の取り合いになってしまっています。福祉職は大変というイメージが強いので、人材定着とか人材確保・育成って部分では、日々悩みますね。自分一人で楽しいことやってやるうってやればいいんですけど、会社作って多くの人を動かしていかなくちゃいけないって部分では、思いを実現するために働いてくれる人たちがいる人たちがいる人たちに育成していくかが、日々課題ですね。

下山 翔大

パワフルAOMORI! 創造塾
第34期卒業生

一般社団法人ミライク代表理事
児童発達支援・放課後等デイサービス
ミライク学園管理者

「やれる方法はあるんじゃないか！」と考えられるようになった!

世界のごも未来のために…

展望もめちやくちやあります。まずは、課題はありますけども、人の力を借りながら、ごもたちの居場所が定期的に保証されるような施設運営を継続的にやっています。困った時に頼れる場所、365日24時間いつでも対応できるような窓口というか、そう



「心」が育ちました!

学びというよりは、心を育ててくれたのがパワフルだったなと思います。パワフルの中では、一緒に活動している仲間もいますし、たまに個人的にやり取りする人とかもいます。日々活動する時に仲間になれる、一緒に活動してくれる仲間を見つけたのは参加して良かったなと思います。地域の人間と一緒に取り組んでいける

いう場所を今後作っていききたいと思っていますし、それを具体的に進めているところです。もうひとつは、カンボジアをはじめとした海外支援です。先日、海外の貧しい環境とかを見てきました。そこに生を受けただけで、こんなにも環境が違って、平等ではない社会。そこに公平性を持たせていくための海外支援を継続的にやっています。最後は鶴田町の昔からある良いところをなくしたくないなと思っています。例えば、通っていた小学校とか中学校とかが変わったり、好きだったものがどんどんなくなったりする地域にはしたくない…。昔の良かったところをまた社会の中で取り入れられるようになっていけばいいな、面白いなって思います。

方法もあるんじゃないかなって気づかせてもらったのもパワフルです。これまでの職場では、日々悩んでいたし、日々思いが形にできない諦めていた人生だったので、参加するたびに「やってみよう」とか「やれる方法あるんじゃないかな」って考えられるようになっていきました。心が本当に育ったパワフルでした。

